

富士宮産 100%牛乳をブランド化します。

活動の経緯

富士宮市では、市内に牛乳製造のプラントがないことから、市内の畜産農家が生産しながら、市外で製品にして学校給食に提供。

そこで、地産地消・食育の観点から、地元の子供たちへの想いと地元酪農業の発展に繋がることを目的として、市内で酪農を営む生産者が集まり設立。

活動の概要

富士宮市・富士市内の小中学校向けに学校給食牛乳として、日量約 32,000 個の牛乳を提供。



学校給食牛乳の提供の様子



地元小中学生と保護者方向けの

活動の成果、主な実績等

○富士宮市で酪農（第一次産業）を営む生産者たちが、自ら牛乳や発酵乳といった製造・食品加工（第2次産業）し、平成30年4月から、市内の小中学校の学校給食へ牛乳を提供（第3次産業）。併せて、学校での講演や工場見学の受入れなど、食育の推進に取り組む。

○令和3年7月より、地元新聞店と提携して乳製品の宅配事業を開始。今後は、地産地消を推進するため、地元農産物や加工品等の取扱品目を拡大し、地域貢献を図る。

○新型コロナの蔓延により、工場直売所の廃止や学校の休校などで経営に大きな影響を受けたが、市販した新商品「ふじのくに PREMIUM ヨーグルト」の売上げが向上。